

NTT技術史料館かわら版

国立科学博物館の「未来技術遺産」に 新たな史料が登録!

二〇一四年九月、ポケットベル送信装置が、日本の科学技術の発展を示す貴重な資料として、「重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)」に登録されました。

ポケットベル送信装置

日本のポケットベルサービスは、一九六八年七月に東京23区内で開始されました。最初のサービスは、特定の電話番号に電話をすると、ポケットベルが鳴動するだけのシンプルなものでした。このサービス開始時に、アナログ方式の呼出信号を送信したのが「TC-11形送信装置」です。その後、お客さまの増加やサービスの多様化、受信機の小型化などに対応するため、世界に先駆けてデジタル化が進められ、



左からTC-11形送信装置、CE-15形A符号化装置、TC-15形送信装置

一九七八年八月から200bpsデジタル信号方式によるサービスがスタートしました。一九八九年には、文字情報を送信するなどのサービスの高度化と高速化を図るため、1200bps方式が開発され、この高速デジタル信号を送信するために導入されたのが「TC-15形送信装置」と「CE-15形A符号化装置」でした。ポケットベルサービスは、その後も自由文の送信を可能にするなど高機能化が進み、カードタイプやペンタイプなどデザイン性に富んだ多彩な受信機の登場と相まって、一九九〇年代には、若い世代を中心とした「ベル友」ブームが到来するなど、一般利用者向けの「どこでもつながる」移動体通信機器として発展しました。

過去に登録された 粋な 史料の数々

未来技術遺産

1F
技術革新と多様化の時代
ワイヤレス
テレホン
(大阪万博の
携帯電話)

ノードの技術
D10形
自動交換機
(電子交換機)

トランスジムの技術
マイクロ波
4GHz帯用
進行波管
4W75A

てびく奇贈展
ポケットベル
B型 RC11

2F
モバイルネットワークの技術
自動車電話
TZ803A

3F
内航船舶
無線電話装置
NS-1号
JAA-333

第五版

毎週木・金曜日午後には、一般公開実施中!

地下一階で特別企画「黒澤コレクシヨン展」開催中!

OBが復元に成功した、手動交換機を体験展示!

地下一階で
「黒澤コレクシヨン展」
開催!

一九三七年十一月二日に東京大阪間で国産テープ式和文印刷電信機による初の通信を開始した際、実際に使用されたとされる和文印刷電信機などの貴重な史料の数々を(株)クロサワ様より奇贈いただきました。ぜひご覧ください。

〈主な展示物〉

- ・黒澤J3型印刷電信受信機
- ・松尾送信機
- ・和文タイプライタアツマタイプ

粋な 展示



黒澤J3型
印刷電信受信機



和文タイプ
ライタアツマ
タイプ

松尾送信機

粋な プレゼント

ご来館いただいた方に
オリジナルペーパークラフトを
プレゼント!

今年には「カード式公衆電話」がペーパークラフトになって登場します。NTT技術史料館でしか手に入らないレアなペーパークラフトです。この機会にぜひご来館ください。



色味や質感などリアルに再現しました!